



犬山動物総合医療センター

# 動物病院だより

第250号

2025年12月15日

愛知県犬山市羽黒大見下29

TEL 0568-67-1267

<http://www.inuyama-vet.com/>



## 誤食注意！

年末年始はクリスマスやお正月など行事が多い季節ですが、異物の誤食による事故が多い季節でもあります。誤って異物を飲み込んでしまった場合、ペットの命に係わるケースもありますので、注意が必要です。

異物とは、誤って飲み込んでしまった物のことです。異物が消化管内に停滞し、通過障害が起こる事で食欲不振・嘔吐などの症状が現れます。異物が鋭利な場合、物理的に消化管を突き破ることで腹膜炎なり最悪死に至る事もあります。



### ☆異物のよくある例

- ・ビニール片
- ・プラスチック
- ・紐やリボン
- ・乾燥材や保冷剤
- ・タバコ
- ・竹串
- ・トウモロコシの芯
- ・イヤホン
- ・人用の薬
- ・ブドウ（レーズン）
- ・チョコ
- ・玉ねぎ
- ・ユリ科の植物
- ・アボカド



左の例のうち、赤字は中毒性のある物です。

人間にとて害がなくとも、犬猫にとっては少量でも毒物となる可能性があります。

## もし誤食をしてしまったら・・・

まずは、すぐに動物病院に受診しましょう！

✓どの様な**大きさ・形状・材質**の物か？

✓**いつ**飲み込んだか？

✓どのような**症状**が出ているか？

の3点をお伝えください。

当院では、異物誤食の治療において、薬剤による催吐処置もしくは、麻酔下での内視鏡や開腹手術による異物摘出を行っております。

一方で、誤食した異物の種類やサイズ、誤食経過時間によっては、経過観察をする場合もあるため、治療方針は獣医師とよくご相談ください。



### 家で出来る対策

- ・危険な食べ物を把握する。
- ・ケージを活用する。
- ・安全なおもちゃを選ぶ。
- ・危険なものを置かない。

犬猫の誤食事故では、身近なありとあらゆるものが異物になり得ます。特に、おもちゃや食べ物、小さく飲み込みやすい物は、比較的異物となりやすいです。気を付けて年末年始をお過ごしください。



12/31～1/3の間、診察受付時間が下記の通り変更になります。



**午前 8:30～11:30**

**午後 13:00～15:00**

また、フードショップはCLOSEとなりますので、フードをご希望の方は、本院にてお声がけください。

※この期間、WEB受付は終日使用不可となります。

※この期間、基本的に時間外診療は行っておりません。